

サメの研究についての紹介

後藤 仁 敏

サメ類は、脊椎動物の進化において、きわめて重要な位置をしめる仲間と考えられる。すなわち、サメ類は、さまざまな特殊化した特徴をもつ一方、デボン紀に栄えた原始有顎脊椎動物の遺存種型とみなすことができる。

また、古くから人間とのいろいろな関係を持ち、サメ類に関する研究も多数にのぼっている。つぎに、筆者の手もとにある文献(単行本のみ)について紹介したい。

1. Bigelow, H.B. and Schroeder, W.C. (1948)

: Fishes of the Western North Atlantic. Memoir No. 1; Part One, Lancelets, Cyclostomes, Sharks; Part Two, Sawfishes, Guitarfishes, Skates, Rays and Chimaeroids. Sears Found. Marine Research. Yale Univ..

西大西洋の魚類についてまとめた大著で、サメ類62種、エイ類63種、ギンザメ類4種を正確な図をいれて記載している。歯とウロコの図が多く、化石の同定のためにもっとも役立つものである。

2. Gilbert, P.W. (ed.) (1963): Sharks and survival. Heath, Boston.

サメの分類と分布・習性・神経系と感覚器・危険なサメ・サメの攻撃様式・サメの危険問題への対策、の6つの区分についての論文集である。付録に、世界中のサメにおそわれた記録がある。

3. McCormick, H.W., Allen, T. and Young, W.E. (1963)

: Shadows in the sea. The sharks, skates and rays. Chilton, Philadelphia.

サメの攻撃、捕獲法、伝説などサメと人間との関係について詳しくのべてある前半と、サメの先祖、特徴、分類、形態についてかいてある後半、および付録・サメの料理法からなる。

4. Zim, H.S. (1966): Sharks. Morrow, New York

サメの進化・種類・形態・習性・攻撃などについてやさしく説明した子供むけの絵本である。

5. Gilbert, P.W., Mathewson, R.F. and Rall, D.P.

(ed.) (1967): Sharks, skates, and rays. John Hopkins, Baltimore.

I 系統発生・分類・分布, II 浸透圧調節および塩分と水の代謝, III 歯, IV 中枢神経系と特殊感覚, V

薬理・内分泌・免疫, に関する論文集。

6. Riedman, S.R. and Gustafson, E.T. (1969)

: Focus on sharks. Abel and Schman, London.

サメの化石と先祖, 特徴, 分類, 生態, ヒトへの攻撃, 研究法についての概説。

7. Lineaweaver III, T.H. and Backus, R.H. (1969)

: The natural history of sharks. Lippincott Philadelphia

サメの進化, 分類, 解剖, 発生, 付録一検索法。

8. Clark, E. (1969): The lady and the sharks. Harper & Row, New York.

サメの女性研究家として有名なクラーク博士が、フロリダのケープ・ヘイズ海洋研究所で、サメの研究にとりくんだ記録。「海と太陽とサメ」という題で、河出書房新社から訳本がだされている。

9. Burgess, R.F. (1970): The sharks.

Doubleday, New York.

サメの神話, 攻撃, 進化, 解剖, サメとイルカ, サメの研究, 付録一サメの同定法, からなる。

10. Cousteau, J.-Y. and Cousteau, P. (1970)

: The sharks. Splendid savage of the sea. Doubleday, New York.

有名な海中探検家クストーらが、カリブソ号にのって、世界の海のサメとであった記録。美しいカラー写真と、なまの資料がすばらしい。主婦と生活社から、「海のテロリスト, クストー海洋探検シリーズ No. 2.」として、訳本がだされている。

11. Budker, P. (1971): The life of sharks. Weidenfeld and Nicolson, London.

この種の本のなかで、もっともよくまとめられているもの。サメの分類, 一般の形態, 解剖, 食性, ヒト食いザメ, 淡水ザメ, 神話と伝説, サメの水産学と利用, にわたってのべてあり, 付録に俗名と学名の対比表がある。解剖・生態が詳しい。

12. Tinker, S.W. and DeLuca, C.J. (1973)

: Sharks & rays. A handbook of the sharks and rays of Hawaii and the Central Pacific Ocean. Tuttle, Tokyo.

ハワイ諸島付近の中央太平洋のサメ類36種, エイ類6種, ギンザメ類1種についての記載である。